

テニュアトラック普及・定着事業
(実施期間：平成 25～29 年度)

宮崎大学

機関

(1) 制度設計	(2) 進捗状況	(3) 今後の進め方等	機関の総合評価
s	a	s	S
<p>全学機構であるテニュアトラック推進機構を設置して、学長の強力なリーダーシップの下、テニュアトラック制を文系部局も含めて全学的に展開しており、同制度が全学に定着している。中規模地方大学にとって、テニュアトラック制のロールモデルとなっており、制度の普及・定着への努力は高く評価される。</p>			

テニュアトラック推進機構

(1) 制度設計、計画等	(2) 進捗状況	(3) 公募、採用、選考等	(4) 研究者の育成	(5) 今後の進め方	部局の総合評価
s	a	a	b	a	A
<p>全学機構であるテニュアトラック推進機構を設置して、学長のリーダーシップの下、テニュアトラック制を文系部局も含めて全学的に展開しており、同制度が全学に定着している。中規模地方大学にとって、テニュアトラック制のロールモデルとなっている。公募における応募者が多いとは言えない事例があり、改善の努力が望まれる。また、博士課程前期学生の主任指導が認められていない、産休制度の仕組み上の問題から希望者が育休を取れなかった事例があることについては、改善が必要である。</p>					

- S, s: 優れた取組を進めており、順調に進捗している
- A, a: 適切な取組を行っており、概ね順調に進捗している
- B, b: 改善を要する点がある
- C, c: 重大な問題がある